



所内 第2回 写真コンクール入選作 「干潟の発破」 物理探査部 小谷良彦

### 干潟の発破

「不知火」で知られた九州有明海の沿岸には炭田が発達し、東部は三池炭田、北部は唐津炭田に属しているが炭層は有明海底にも賦存しており、その一部は着々と開

発されつつある。

地震探鉱法による海底炭田の調査はその作業方式が陸上調査とは異なるが、有明海の場合は水深数mの浅海である上に干満の差が甚しく、干潮時は沖合1km、大潮の際には沖合4kmまで完全な干潟となるので干潮時を選んで爆発孔の掘さく、地震計の配置など陸上調査とほとんど同様の方式を採つた。

観測船や発破船は潮の引く前に所定の位置に達して有明海特有の泥土上に坐りこみ、干潮時に発破、観測を行い、

満ち潮に乗つて帰るのであるから、潮の変化によつて作業時刻も左右される。この写真は朝日が雲をいりどり始めた頃に行つた爆発のスナップであつて、四本の樁はさく孔用のもので、爆煙が低く這つている。

### 。。。地質調査所の出版物。。。

#### ○地質調査所月報 (第7巻 第9号)

##### 報 文

工業用水調査グループ：徳島県吉野川および那賀川水系工業用水源地域調査報告

尾原 信彦：石狩平野篠津泥炭地の地表下堆積状態と泥炭地下水の水質

— 泥炭地開発基礎調査 —

##### 概 報

大和 栄次郎：長野県飯山市温泉地質調査報告

番場 猛夫・五十嵐 昭明：北海道茅部郡鹿部村舎チタン砂鉄鉱床調査報告

松村 明：北海道太櫓郡大生鉱山マンガン鉱床調査報告

##### 抄 録

最近の石油成因学説の Proto naphtha について

#### ○地質図幅および説明書 (5万分の1)

- 「昆布森」 (北海道)
- 「海南」「動木」 (和歌山県)
- 「富高」「都農」 (宮崎県)

#### ○物理探鉱調査一覧 (第1輯)

#### ○日本鉱産誌 BI-b (銅・鉛・亜鉛)

#### ◇地質調査所の刊行物について

地質調査所で刊行の「地質図幅」「地質調査所報告」「地質調査所月報」類は下記協会にて取扱つております 詳細は直接同協会へ御照会下さい

東京都千代田区二番町12

東京地学協会 Tel. (九段) 33-0809

#### ◇地質ニュース新規配布御希望の方へ

地質ニュースは毎月末に発行し 無償で配布しておりますが 郵送料(1部につき8円切手)は各自に御負担願つております

新年度からの配布御希望の方は下記へどうぞ

東京都新宿区河田町8

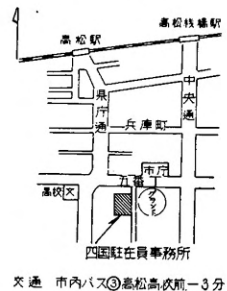
地質調査所 東京分室 企画課 広報係

#### \*\*お知らせ\*\*

12月13日四国駐在員事務所は下記へ移転しました

高松市七番丁56の1  
四国通産局内

地質調査所  
四国駐在員事務所  
Tel. (高松局) 5681-3



訂正 No. 28 10頁上から10行目  
苗木(石川)は苗木(岐阜)の誤植につき訂正します